



五月号

このゆびとまれ

多里まちづくり推進協議会広報誌



多里まちづくり推進協議会

検索



桜公園ライトアップ 4月10日～14日

今年の桜公園ライトアップは、暖かい日が続き、桜の花も例年よりたくさん付いているようでした。とてもきれいでした。おもてなしは夜のみでしたが、フェイスブックには「昼間にお花見に行きましたよ」とアップしてくださった方が数名おられました。5日間で総勢70名の方々が花見に来てくださいました。今松工務店さんや坪倉組さんからご寄付いただいたお金で提灯を30個購入し、奥側に取り付けたところ奥行きが出てとてもきれいでした。駐車場も碎石を入れて固める作業をしていただき、駐車しやすくなりました。イノシシとの戦いではありますが、年次計画で少しずつ駐車スペースを広げていこうと思います。見に来ていただいた方、作業にお力を貸してくださった方、ご寄付いただいた方本当にありがとうございました。



4月25日 18:30～多里地域振興センター 多里まちづくり推進協議会総会

6月号で今年度のまち協の流れをお知らせします。

満天☆満開プロジェクト（仮称）

満天☆満開プロジェクトが発足しました。阪神淡路大震災から広がった『はるかひまわり』の運動の一環です。6月2日（日）に種まきをします。趣旨賛同いただける方は、後日詳細をお知らせしますので、ご参加ください。

平成7年1月17日大きな地震が神戸を襲いました。木造の建物は、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされていました。はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。震災から半年後、はるかちゃんの家があった空き地。はるかちゃんの遺体を発見した場所には驚いたことに、無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました。

『はるかひまわり』

はるかちゃんと同級生の娘さんを持つ藤野芳雄さんは、はるかちゃんを助け出せなかった悔しい思いから、はるかひまわり、を全国へ普及させる活動を断続的に続けてこられた、はるかひまわり、の生みの親です。“はるかひまわり絆プロジェクト”も藤野芳雄さんの真摯な思いから生まれた活動です。藤野芳雄さんは2012年11月に逝去されましたが、ご冥福を祈りつつ、向日葵の種の配布活動を継続しています。



星空案内

今回は星占いで使用されている12星座の1つ、しし座（7/23～8/22）のお話です。しし座は春の星座で、この時期であれば夜8時～9時の間に南向きの高い位置に見られます。南側を向いて天頂（空の真上）から握りこぶし3個分のあたりに青白く光る星があります。これがしし座の心臓にあたる場所にある1等星でレグルスと呼ばれ、「小さな王」という意味があります。このレグルスから左（東側）に見える台形が胴体で、上（天頂側）に見えるカギ型が頭になります。毎年11月中旬にはこのしし座を中心に四方八方に流れ星が流れる「しし座流星群」が見られます。しし座の神話：ギリシャ神話の英雄ヘラクレスが神から与えられた12の難行、その1番目がネメアの森に住む巨大な人喰いライオン退治でした。ライオンの固い皮膚と毛皮には弓矢も剣も通じず、ヘラクレス自慢の棍棒も鋭い爪と牙に砕かれました。勝ちを確信したライオンはヘラクレスに飛び掛かりましたが、もみ合いの中でヘラクレスはライオンの首をその剛腕で締め上げ、ついには首をへし折って退治しました。

写真・解説

鳥取県認定星空案内人第1号

新田浩志（星のソムリエ）

